企画展

愛でたい、お姫様たちのひな道具



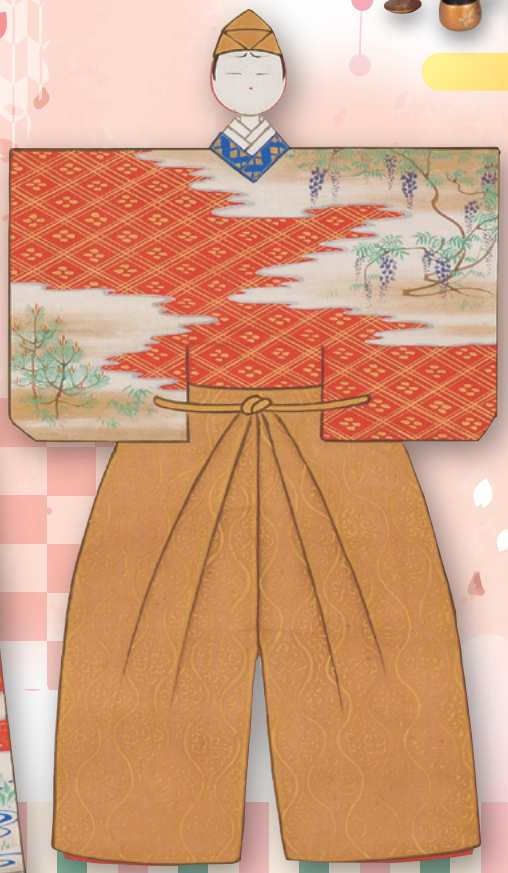
②



④



③





①



③

① 立雛図　原在泉筆　明治25年（1892）
② 正源院画像　江戸時代
③ 梅若松蒔絵雛道具　江戸時代
④ 破七宝繋丸十字牡丹紋蒔絵雛道具　明治時代

令和8年

2.7（土）〉〉3.29（日）

林原美術館
HAYASHIBARA MUSEUM OF ART

同時開催　林原美術館主催　第一回　新作公募展「掌」

会期／令和8年（2026）2月7日（土）～ 3月29日（日）
会場／ナガセヴィータ・ギャラリー（林原美術館 敷地内）

「両の手で愛でる掌のアート」をコンセプトに、新進工芸作家への支援と新たな活躍の場を創出する新作公募展。第一回目の課題作品は「漆芸」とし、審査で選ばれた受賞作品10点、入選作品24点、全34作品を展示公開いたします。



開館時間●10時～17時（入館受付は16時30分まで）　月曜日休館（祝日の場合は翌日）　入館料●一般500円 高校生300円 小・中学生無料

友の会会員、学校メンバーズ加入団体、障がい者手帳提示の方・付添者 無料　団体（20名様以上）2割引

主催●林原美術館　後援●岡山県郷土文化財団　山陽新聞社　RSK山陽放送



源氏物語図屏風（「須磨」部分）
江戸時代

女子の健やかな成長を願う節句祝いの「ひな祭り」ですが、もとは中国の「上巳節」に由来しています。上巳節とは、3月初めの巳の日である「上巳」（現在は3月3日）に水辺で身心を清め、災厄や邪気を祓う行事で、平安時代頃に日本へ伝えられました。同時代に執筆された『源氏物語』に、主人公の光源氏が不貞の禊として、紙・草木などで作る形代に不浄をうつして船で流す描写があり、日本では心の救済や拠所として上巳の祓いという風習が根付いていたことがわかります。

また、宮中では、女子が小さな人形や道具で遊ぶ「雛遊び」が親しまれており、上巳の日には子の象徴となる形代や人形に厄災をうつして川に流す「雛流し」が行われていました。江戸時代以降は、幕府によって上巳が「五節句」に定められると、“厄を流す”から子の成長や無病息災を祈念する祝事となり、ミニチュアサイズの人形や道具を飾って祝う「ひな祭り」の文化へと発展していきます。

本展では、そうした祝事に華を添える小ぶりで愛らしいお道具として、岡山藩主池田家に伝わるお姫様のひな道具の中から約400点を10年振りに展観するとともに、上巳の祓いの様子を描いた『源氏物語』の屏風絵や幼子を厄災から守る「天児」など、雛人形のルーツを辿る資料もあわせてご紹介します。





人形衣装
江戸時代

各種イベント

ワークショップ「つまみ細工」

岡山県倉敷市で「つまみ細工」の教室を主宰する安谷由紀氏を講師にお招きし、正絹（シルク）をピンセットでつまんで小物をつくるワークショップです。針や糸を使わず、現代風にアレンジした作り方になっていますので、はじめての方も大歓迎！今回は、カラフルな色の花弁が可愛い小物作りに挑戦します。（イメージ作品画像）

日　時｜令和8年（2026）2月8日（日）13時～15時
講　師｜安谷由紀 氏（「つまみ細工 ゆきいちご」主宰）
場　所｜林原美術館内ロビー
定　員｜10名（Webにて要予約）
　　※小学生以下は保護者同伴
参加費｜3,100円（材料費込み、入館料別途）



特別企画「和菓子とお抹茶の日（その4）」

本年度の特別企画として、明治21年（1888）創業、130年の歴史をもつ老舗の和菓子屋「松涛園」（岡山県倉敷市玉島）にご協力いただき、展覧会にちなんだ特別な和菓子をお抹茶とともに提供いたします。

日　時｜令和8年（2026）3月14日（土）10時～14時
場　所｜林原美術館内
定　員｜20名（Webにて要予約）
お茶菓子代｜600円（入館料別途）

※企画展ごとに開催する予定です。その都度変わる創意あふれる甘味をご賞味ください。
※14時までにご連絡がなく、来館のない場合はキャンセル扱いとなります。

学芸員によるギャラリートーク

会期中の毎週土曜日　14時～
（予約不要・参加無料・入館料別途）



浮線菊菱紋蒔絵雛道具（花衣桁）
明治時代



破七宝繋丸十字牡丹紋蒔絵雛道具（駕籠・歌留多）　明治時代









御所人形（袋持・鯛持・鶏抱）
江戸時代

次回予告

企画展「サムライたちの物語 ―新収蔵刀剣と名品で紡ぐ時の声と美―」　令和8年（2026）4月18日（土）～6月14日（日）

新収蔵刀剣20口を軸に、三国（備前・備中・美作）の刀剣を展覧し、為打ちや伝来品、御番鍛冶、注進物、業物など刀剣にまつわる物語やサムライの生き様を紹介します。

林原美術館
HAYASHIBARA MUSEUM OF ART

〒700-0823　岡山市北区丸の内2-7-15
TEL（086）223-1733　FAX（086）226-3089
https://www.hayashibara-museumofart.jp/
＊車椅子対応の設備あります。
林原美術館Web

【臨時休館について】「暴風警報」「特別警報」が発令されている場合は、臨時休館とさせていただきます。詳細はWebに掲示しておりますのでご覧ください。

交　通

◉JR岡山駅から徒歩25分
◉路面電車［東山行］
　県庁通り下車 徒歩7分
◉岡電バス［岡電高屋行］
　県庁前下車 徒歩3分
◉宇野バス［瀬戸駅前行・四御神行］
　県庁前下車 徒歩3分
◉循環バスめぐりん［県庁医大線］
　県庁前下車 徒歩3分

